

# 学生相談室2021年度年間活動報告

甲南大学学生相談室 友久茂子・梅原美奈

## I. 活動概要

2021年度の学生相談室の活動は、ほぼ例年通りの体制、専任カウンセラー2名、非常勤カウンセラー7名（2日勤務のカウンセラーが1日勤務となり、人数は1名増加となった）と非常勤精神科医1名で行われた。学生相談室専従の事務・受付、カウンセリングセンター事務室職員に交代はなく、新型コロナウイルス感染拡大によって社会に動揺が走った2年目も、それに大きく影響されることなく前年同様スムーズに活動が開始された。緊急事態宣言下で、学内行事や活動が制限された時期もあったが、学生相談室については前年同様、岡本キャンパスにおいては月曜～金曜の10時～17時と土曜の10時～12時、西宮キャンパス（CUBE）においては火曜・金曜午後4時間、ポートアイランドキャンパス（FIRST）においては、水曜の10時～14時を開室とした。

また、運営については、各学部と学生部から選出の委員9名とカウンセリングセンター・人間科学研究所事務室の職員3名が加わり、人事・財務・活動内容などに関する検討を行った。関連する学内会議としては、カウンセリングセンター委員会、学生相談室委員会があり、実務スタッフの情報共有のために、学生相談室スタッフミーティングが開かれている（詳細は、後掲の表参照）。

学生相談室の主たる活動は、相談室内における個別のカウンセリング、関係者へのコンサルテーション、グループプログラムの実施であるが、それ以外にも正課授業の担当（全学部対象の基礎共通科目：「心の健康科学」「自己の探求」「癒しの諸相」ならびにCUBE科目：「心理学と現代社会」、理工学部生物学科の1年次必修科目：「生物

学入門」の部分担当）など、幅広い教育活動を展開している。関連する会議としては、執行部と関連部局（学生部、教務部など）に加え学生相談室の教員が参加して学生支援のあり方などを協議する、学生生活支援委員会、学生支援のより実務的な話し合いを行う同小委員会、さらに10月からは合理的配慮義務化に関するワーキンググループが開かれている。その他、人間科学研究所運営委員会などがあり、これらの活動全体を通して、全学の学生教育ならびに学生支援に貢献することを目指している。新たに始まった会議として、大学の組織改革の一部として学生相談室の位置づけについても検討する「学生支援機構（仮称）設置検討タスクフォース」が4回開催された。

また、障がいのある学生への支援体制充実に向けて2018年度から始まった、障がい学生の支援を行う「YOUステーション」に、毎週2時間、学生相談室教員2名が交代で出向き、修学支援コーディネーターと継続的に情報共有し、連携して支援に当たる活動も継続された。それとも関連して、外国人留学生に対する支援体制の充実に向けた活動も継続され、留学生への合理的配慮の在り方についても話し合う、国際交流センター・カウンセリングセンター連絡会がもたれた。前年度同様コロナ禍の影響を受け、ほとんどの留学生は入国できなかったが、海外へ留学している学生について話し合わせ、本年は4回の開催となった。また、今年度から「第二次プレミアプロジェクトSMILEミーティング」にもグループ担当のカウンセラーが中心に参加している。

大学基準協会による機関別認証評価（7年ごとの実施）に向けた、学内の自己点検・評価活動も

引き続き実施され、「カウンセリングセンター組織別内部質保証委員会」「機能別内部質保証委員会（学生支援部門）」「人間科学研究所内部質保証委員会」がそれぞれ複数回開催され、学生相談室教員が委員参加して、活動実績の数値化文章化の作業を行った。

これ以外にも、学生相談に関連する様々な学会・研修会に、すべてのカウンセラーが1回以上は公務として参加し、学生相談力の向上のために研鑽を積んだ。

本年度の特記すべき活動としては、本学学生相談室と人間科学研究所の共催による公開研究会「学生の主体性を育む大学教育実践の試み」が開催されたことである。この研究会では学生相談は個人のカウンセリングだけを業務として考えられがちであるが、実際には大学における心理教育に深く関わっていたことが、30年を超える学生相談室の活動を振り返ることで明確になった。さらに、特筆すべきことは、女子陸上部心理教育プログラムとして、学生相談室のカウンセラーがグ

ループワークを実施したことがある。

また、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大によって、学生相談室の活動すべてに何らかの形で影響を受けたことがあげられる。個別面接については「対面」だけではなく、学生の希望によって、「Zoom」や「電話」で対応した。また、グループ活動については、「Reアワー」は全回「対面」とし、昼休みのグループ活動「トークタイム」は、前期はその感染状況に応じて「Zoom」と「対面」で、後期からは「対面」で対応した。

教職員や友人と繋がりにくいコロナ禍の状況が長期化したことで、学生相談室の利用者はグループ活動だけのべ約100件、全体で750件程度コロナ禍1年目の前年度より増加している（本紀要「学生相談室2021年度利用者統計報告」参照）。

その他、ほとんどの会議と、研究会や学会もオンラインや、対面とオンラインを併用したハイフレックス形式で開催され、コロナ禍の影響を強く受けた年度となった。

## II. 2021年度年間活動報告

月	日	概	要
2021年			
4月	1日	理工学部生物学科保護者・新入生ガイダンス〔高石〕	
	7日	第1回女子陸上部心理教育グループワーク〔友久・西浦〕	
		FIRST新入生ガイダンス・見学会〔高石〕	
	8日	第2回女子陸上部心理教育グループワーク〔友久〕	
	9日	第1回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）	
	12日	理工学部導入科目「生物学入門」授業協力 グループワーク実施（第1回）〔高石・松本知子〕	
	15日	第1回学生相談室委員会	
	19日	理工学部導入科目「生物学入門」授業協力 グループワーク実施（第2回）〔高石・渡里〕	
	22日	第1回カウンセリングセンター組織別内部質保証委員会	
	23日	第1回人間科学研究所運営委員会・第1回人間科学研究所組織別内部質保証委員会	
		第1回国際交流センター・カウンセリングセンター連絡会	
5月	10日	第1回機能別内部質保証委員会（学生支援部門）（オンライン）	
	15～17日	日本学生相談学会第39回大会（オンライン） 出講・出席〔青柳・西浦・高石〕	
	19日	第1回学生相談室・心理臨床カウンセリングルーム協働体制検討ワーキンググループ（ハイフレックス）	
	24日	第1回第二次プレミアプロジェクトSMILEミーティング	
	28日	第2回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）	
6月	3日	第1回学生生活支援小委員会	
	25日	第3回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）	

月	日	概 要
	29日	第2回人間科学研究所運営委員会（メール審議）
	30日	前期グループワーク「声のちから～声は息、息は心～」開催 於：18号館講演室 講師：福嶋あかね氏（メゾソプラノ歌手） 出席12名（学生7名、教員1名、スタッフ4名）
7月	1日	第2回学生生活支援小委員会
	5～9日	日本私立大学協会令和3年度（第66回）学生生活指導部課長相当者研修会 「長期化するコロナ禍が学生の心理に及ぼす影響と求められる支援」 出講〔高石〕（オンライン配信）
	8日	第2回学生相談室委員会
	14日	第2回機能別内部質保証委員会（学生支援部門）
	16日	第2回カウンセリングセンター組織別内部質保証委員会 第2回国際交流センター・カウンセリングセンター連絡会
	26日	第2回人間科学研究所組織別内部質保証委員会（ハイフレックス）
	30日	第4回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
8月	2日	第3回学生生活支援小委員会
	10日	大阪府立大学大学院地域保健学域看護学類2021年度FDセミナー 「コロナ禍における学生の現状と支援」 出講〔高石〕（オンライン）
	30日	第2回第二次プレミアプロジェクトSMILEミーティング 神戸女子大学看護学部学生支援委員会・FD委員会合同開催講演会 「コロナ禍が学生の心理面に与える影響」 出講〔高石〕（オンライン）
9月	3日	2021年度第1回関西学生相談研究会（NAS研）（オンライン） 出席〔高石・松本知子〕
	3～26日	日本心理臨床学会第40回大会（オンライン） 出席〔高石・渡里〕
	6日	関西学院大学総合支援センターカウンセラー研修会「コロナ禍以降の学生相談について」 出講〔高石〕
	8日	経済学部FD研修「コロナ禍における学生のストレスケア」 出講〔西浦〕
	9日	甲南大学カウンセリングセンター学生相談室・人間科学研究所共催 公開研究会（オンライン） 「学生の主体性を育む大学教育実践の試み」〔山崎・高石・友久・西浦・渡里〕
	16日	第4回学生生活支援小委員会 エリザベト音楽大学教職員研修会 「LGBTQおよび障害のある学生への支援と合理的配慮について」 出講〔高石〕（オンライン）
	17日	2021年度神戸女学院大学カウンセリングルーム主催 特別講義 「コロナ禍における大学生のメンタルヘルス」 出講〔高石〕（オンライン）
10月	1日	第5回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
	9～10日	日本箱庭療法学会第34回大会（オンライン） 発表・出席〔篠田・高石・松本知香〕
	21日	第5回学生生活支援小委員会+第1回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ 第3回人間科学研究所運営委員会
	22日	第3回国際交流センター・カウンセリングセンター連絡会
	29日	後期グループワーク「ダーツに挑戦！」開催 於：18号館サロン室 出席16名（学生10名、スタッフ6名）
11月	11日	第4回人間科学研究所運営委員会（ハイフレックス）
	12日	第6回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
	18日	第6回学生生活支援小委員会+第2回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ
	21～22日	第59回全国学生相談研修会（オンライン） 出席〔高石・松本知子〕
12月	9日	筑波大学T-ACT推進室主催2021年度T-ACT公開シンポジウム基調講演 「学生生活にこころの『密』を取り戻すために」 出講〔高石〕（オンライン）
	13日	第3回第二次プレミアプロジェクトSMILEミーティング
	16日	第7回学生生活支援小委員会+第3回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ
	17日	第7回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
	21日	第1回学生支援機構（仮称）設置検討タスクフォース
	22日	日本工業大学教育改革シンポジウム講演「障害のある学生と合理的配慮」 出講〔高石〕
	25日～1月3日	冬期休室

月	日	概 要
2022年		
1 月	20日	第8回学生生活支援小委員会+第4回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ
	24日	第55回全国学生相談研究会議（オンライン） 出席〔高石〕
	25日	第2回学生支援機構（仮称）設置検討タスクフォース
2 月	28日	第8回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
	10日	第3回学生相談室委員会（ハイフレックス）
	14日	第9回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス） カウンセリングセンター2021年度事例研修会 事例発表者〔松本知香〕 於：18号館 講演室（ハイフレックス） 講師：奥田亮氏（大阪樟蔭女子大学准教授）
		第5回人間科学研究所運営委員会（持ち回り審議）
	17日	同志社大学カウンセリングセンター教職員向講演会「ポストコロナの学生相談」 出講〔高石〕（ハイフレックス）
	18日	第4回国際交流センター・カウンセリングセンター連絡会
	22日	第1回カウンセリングセンター委員会・第3回カウンセリングセンター組織別内部質保証委員会（ハイフレックス） 第3回学生支援機構（仮称）設置検討タスクフォース
	24日	第9回学生生活支援小委員会+第5回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ
	25日	第6回人間科学研究所運営委員会・第3回人間科学研究所組織別内部質保証委員会（オンライン） 第3回機能別内部質保証委員会（学生支援部門）（オンライン） 東洋英和女学院大学学生相談室事例検討会 出講〔高石〕（オンライン）
	26日～3月20日	同志社大学経済学部父母会教育講演会 「コロナ禍の学生の心のケアと育ちの支援—親・家族にできること—」 出講〔高石〕（オンライン配信）
3 月	27日	大学コンソーシアム京都2021年度第27回FDフォーラム 「学生支援におけるキャンパスという『場』の意義」 出講〔高石〕（オンライン）
	28日	学生相談室紀要第29号発行
	1 日	学生相談室企画・学生生活支援委員会主催 2021年度講演会（教職員研修会） オンライン開催 「学生の主体性を引き出す学生支援 —コロナ後のキャンパスが学生のHOMEであり続けるために必要な取り組みの可能性を考える—」 講師：杉江征氏（筑波大学人間系 教授 スチューデントサポートセンター学生相談室室長） 出席89名（教員16名、職員12名、スタッフ14名、学外47名）
	4日	山梨学生相談研究会「アフターコロナにおける今後の学生相談の展望」 出講〔高石〕（オンライン）
	5日	第54回学生相談セミナー（オンライン） 出席〔高石〕
	6日	2021年度第2回関西学生相談研究会（NAS研）（オンライン） 出席〔高石・松本知子〕
	14日	第1回カウンセリングセンター運営協議会 第1回学生生活支援委員会
	18日	第35回ピアラン勉強会「学生相談室からみたコロナ禍の学生のこころの状況」 話題提供〔高石〕（オンライン） 第10回学生相談室スタッフミーティング（ハイフレックス）
	26～31日	春期休室（相談受付休止）
	29日	第4回学生支援機構（仮称）設置検討タスクフォース
31日	第10回学生生活支援小委員会+第6回合理的配慮義務化に関するワーキンググループ	